



平成28年度 画像保存セミナー

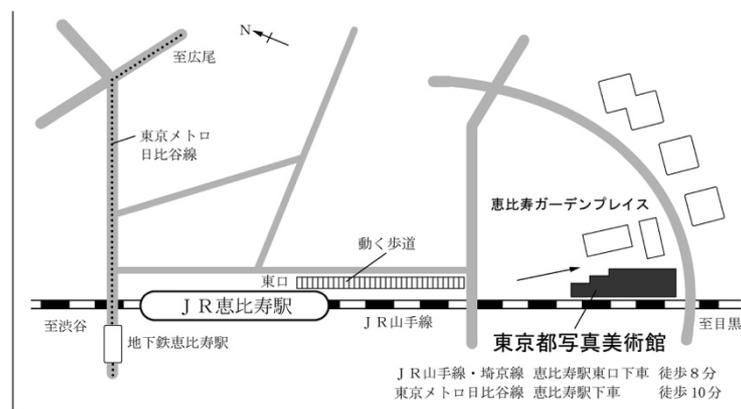
日本写真学会の画像保存研究会は、次世代に伝えるべき記録と価値ある写真画像、またその他の画像記録物の確実な保存を目指し、その知識の普及と技術の確立を目的としております。その主旨に則し、広く情報を発信する場として、1984年より画像保存セミナーを開催し、今年で33回目を迎えます。

本セミナーでは、画像保存研究会とデジタルアーカイブ研究会が共同で、従来から取りあげてきた銀塩を中心とする写真画像等と、扱う機会が増えてきたデジタル画像等の両面の保存と活用について取り扱っています。参加者の皆様に役立つように、基礎的な知識、最新の情報、活用例など、多岐にわたる内容をお届けします。本年度は、リニューアルした東京都写真美術館にて開催いたします。

例年通りセミナー終了後、講演者と参加者が自由に情報や意見の交換をして頂ける懇親会を設けております。画像保存に関心のある方、関連分野の多くの方々のご参加を賜りたく、案内申し上げます。

日時：平成28年11月 2日（水）
9時55分～17時15分 <9:30受付開始>

場所：東京都写真美術館ホール
東京都目黒区三田1-13-3 恵比寿ガーデンプレイス内



主催 一般社団法人 日本写真学会

協賛 日本写真芸術学会／東京都写真美術館
一般社団法人 文化財保存修復学会／情報保存研究会
公益社団法人 日本博物館協会／一般社団法人 日本画像学会
一般社団法人 日本印刷学会／一般社団法人 画像電子学会
一般社団法人 日本オプトメカトロニクス協会

セミナープログラム

9:30 受付開始

9:55 開会挨拶

10:00 講演 1. 東京都写真美術館における保存の歩み

|

東京都写真美術館 山口 孝子

10:50

保存科学研究室は、作品保存のための調査研究、保存処置作業の実施・監督、保存に関する情報交換を行うことを目的に設立され、1994 年度より保存科学専門員が配属された。その後の歩みと、この 2 年間の美術館改修による保管施設の充実と改修中の注意点について解説する。

10:55 講演 2. 全館改修における LED スポットライトの選定と導入

|

東京都写真美術館 石田 哲朗

11:25

東京都写真美術館では 2016 年 9 月のリニューアル・オープンにおいて展示室スポットライトを新規導入した。導入にいたるまでの実見テスト等のプロセスをひとつの実例として紹介し、写真と映像の専門美術館として、どのような基準や観点から機種選定を行ったかを解説する。

11:30 講演 3. 最近の LED 光源の動向と光の質の新評価方法について

|

株式会社 YAMAGIWA 石橋 雅之

12:00

最近の LED 光源の動向と光の質の新評価方法 TM-30 の概要について解説。また具体例として東京都写真美術館に採用された超高演色 LED である VIOLED を中心にももの見え方の変化、また安全性などについて従来光源との比較を交えて紹介する。

— 昼食休憩 (90 分) —

13:30 講演 4. 画像情報アーカイブの技術的可能性と問題

|

---LAB TIFF、分光データ、高色域画像等へのトライ---

14:20

公益社団法人日本印刷技術協会 郡司 秀明

印刷だけを対象とせず、将来医学や画像技術が進歩したときに役立つように分光データでのアーカイブ、そのデータの解析、そのデータからテストチャートを作成してきた実例を解説し、具体例としては母子手帳の「胆道閉鎖症チェック用便色カード」完成までの要点を解説。また LAB TIFF 等、広色域画像のアーカイブとその応用について解説する。

14:25 講演 5. デジタルアーカイブの長期保存に向けた光ディスク新技術と利活用

|

ソニービジネスソリューション株式会社 千明 悟

15:15

日々増加するデジタルコンテンツ資産の長期保存には、フィルム、テープ、HDD など様々なストレージが検討されている。本講演では長期保存とメディアの堅牢性で注目される光ディスク技術にフォーカス。映像・画像保存用途などの利活用事例と光ディスクの運用メリットを中心に紹介する。

— 休憩 (15 分) —

15:30 講演6. オープンソースで出来る：画像・映像領域への利用事例と技術動向について
| レッドハット株式会社 和田 健一郎

16:20

オープンソースは、枠を超えた多くの参加者による、多様な発想を活かすことで、従来型では困難だった多くのイノベーションを実現している。今回は、特定のハードに縛られずに、自律的な運用で大量の画像・映像を維持可能な SDS の最新動向を解説する。

16:25 講演7. 「国立国会図書館デジタルコレクション」におけるデジタル情報の長期保存の仕組み
| について

17:15

国立国会図書館 木目沢 司

国立国会図書館は、所蔵資料のデジタル化やインターネットから電子書籍等を収集することにより大量のデジタル資料を収集、保存している。本稿では、デジタル資料を収集・保存・提供するシステムである「国立国会図書館デジタルコレクション」について、OAIS 参照モデルの機能要件の観点から考察し、デジタル情報の長期保存の課題について述べる。

17:15 閉会挨拶 日本写真学会会長

*各講演時間には質疑・応答の時間を含みます。なお、講演者および他の参加者の迷惑となるだけでなく、著作権の問題を含みますので主催者以外の写真・ビデオの撮影、録音はご遠慮願います。

*閉会后、講演者と参加者の自由な情報交換の場として懇親会（下記参照）を行います。奮ってご参加ください。

参加申し込みについて

セミナー参加費（講演要旨集代を含む）

日本写真学会および協賛学協会々員	……………	6,000 円
非会員	……………	8,000 円
学 生	……………	2,000 円

（日本写真学会の賛助会員所属で非個人会員の方の取り扱いに関しては、賛助会費の口数に応じた人数枠に対して申し込み順に会員扱いとなります。枠を超えた分は非会員扱いとなります。会員枠が残っているかどうかにつきましては、ご面倒でも事務局にお問い合わせ下さい。）

定 員 180 名（定員になり次第締切りますのでお早めにお申し込み下さい）

懇親会

講演者と参加者の自由な討論の場、および参加者相互の情報交換や交流を深める場として、セミナー終了後に下記のとおり懇親会を開きます。参加ご希望の方は郵便振替用紙の該当欄にその旨ご記入の上、会費をお送り下さい。

日時：当日 11 月 2 日 17 時 30 分より

場所：恵比寿ガーデンプレイスタワー 3F 「YEBISU GARDEN CAFE」

会費：3,500 円

申込締切 平成 28 年 10 月 14 日 (金)

申込方法 このプログラムに同封されている郵便振替用紙に、必要事項をご記入の上、セミナー参加費をお振り込み下さい。ご入金を確認した後、参加証をお送り致します。また、懇親会に参加ご希望の方は会費も合わせお振り込み下さい。

(郵便局備え付けの振替用紙でもお申し込み頂けます。その際は参加費区分、懇親会参加の有無を通信欄にお書き下さい)

日本写真学会ホームページ <http://www.spstj.org/> から参加申込ができます。トップページの「最新イベント情報」、あるいは左肩「イベント」よりお入り下さい。その場合でも、参加費のお支払は、上記のように事前に郵便振込みでお願い致します。

なお、一旦振り込まれた参加費の返却は致しかねますので、ご都合が悪くなった場合には代理の方の参加等でご対処をお願い申し上げます。

送り先 〒164-8678 東京都中野区本町 2-9-5 東京工芸大学内
(一社) 日本写真学会 Tel. 03-3373-0724
郵便振替口座番号 : 00130-6-72818 Fax. 03-3299-5887

日本写真学会にご入会下さい

この機会に、会員でない皆様には当学会に入会されることをおすすめします。セミナー当日、受付に入会申込書がありますので、ご記入の上お申し込み下さい。また、学会 HP (下記 URL) から申し込みます。

年会費 : 正会員 8,500 円 学生 3,000 円

一般社団法人 日本写真学会 事務局
〒164-8678 東京都中野区本町 2-9-5
東京工芸大学内
Tel. 03-3373-0724 Fax. 03-3299-5887
URL <http://www.spstj.org>

このセミナーは、下記の組織で企画されました。

一般社団法人 日本写真学会

会 長 : 小林 裕幸 副会長 : 吉田 哲夫 中野 寧

画像保存セミナー実行委員会

委 員 :	上田 耕一郎 (東京工芸大学)	大関 勝久 (東京国立近代美術館)
	大林 賢太郎 (京都造形芸術大学)	河野 純一 (元コニカミノルタ)
	小林 裕幸 (千葉大学)	酒井 健男 (アルメディアオ)
	清野 晶宏 (IMAGICA)	高橋 則英 (日本大学)
	谷 昭佳 (東京大学史料編纂所)	山口 孝子 (東京都写真美術館)
	吉田 成 (東京工芸大学)	